

# JA高知市 自己改革取組宣言



これまでも、これからも、地域とともに  
JA高知市は総合事業を展開します！

JA高知市は、協同組合の原点（相互扶助の精神）に立ち、組合員の皆さまとの話し合いを深め、「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」に取り組みます。そして「総合事業だからこそ」の強みを活かし、地域にとってなくてはならない組織であり続けます。

**協同組合とは、組合員一人ひとりが力を合せ、みんなの願いをかなえていく組織です。**

- JAは、農業者（正組合員）が組織する協同組合です。農業者の営農とくらしを支えるため、様々な事業を総合的に展開しています。
- 農業者の“所得を向上させたい”“安心できる生活がしたい”などの願いに基づき、農産物の販売や、信用事業（JAバンク）、共済事業（JA共済）などの様々な事業を、営農相談やくらしの相談活動を通じて、総合的に結びつけています。
- 農業者以外（准組合員等）の方にもJAの総合事業を利用いただくことで、「地域農業の応援団」として“農産物の生産”を間接的に支えていただいています。
- 信用事業や共済事業などを含めた総合事業全体の収支のなかで実施しているからこそ、JAの経営基盤が安定し、営農指導事業やくらしの活動の実施、農業施設投資が可能です。
- いわば、JAの総合事業を通じて地域の農業とくらし、組合員の願いをかなえる取組みを支えあっています。

JAの営農指導事業、くらしの活動の主な取組みは次の通りです。

これらの取組みに対するJA高知市の予算額は4,650万円となっています。また、JAグループ高知（JAバンク、JA共済、中央会、各JA）として、別途、自己改革を推し進めるための助成事業費を県下で1億円確保しています。

主な取組みは以下のとおりです。（※予算は令和元年度のもので。）

## ① 生産組織への支援（組織育成費：約2,400万円）

生産組織や青壮年部・女性部で実施する技術研修や視察研修、市場関係者・バイヤーの招致や消費者との意見交換会、担い手農家の育成、小学校での出前授業や農業体験学習（参加者平均4,300名/年）、地域活性化のためのイベント等への費用を支援しています。

## ② 営農改善指導への支援（営農改善費：約240万円）

営農改善費は、営農技術の研究開発、農薬の安全指導や生産履歴システムの運用、環境保全のために実施する土壌分析指導、無料職業紹介事業（農作業ヘルパー）などに支出しています。

## ③ くらしの活動（生活改善費：60万円、福祉事業費1,180万円）

生活改善費は、文化活動や協同組合運動等、ふれあい教室（手作り味噌）などに支出しています。福祉事業では、お年寄りの健康増進を目的に「たんぼぼ宅老所」を運営しています。

## ④ その他（鳥獣害対策費：約270万円、JAグループ高知 県域企画応援事業費：1億円）

鳥獣害対策専門員を設置し、集落の鳥獣害対策を支援しています。

JAグループ高知の助成事業を活用し、農機具のリース料への助成、新品目・新技術・新作型を導入する担い手農家への支援等を行います。（予算は県内全域の額）